

(様式第 10)

伊総第 15-261号  
平成 27 年 10 月 3 日

厚生労働大臣 塩崎 恭久 殿

開設者名 学校法人 東海大学  
理事長 松前 義昭 印

東海大学医学部付属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 第の規定に基づき、平成 26 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒151-8677 東京都渋谷区富ヶ谷 2-28-4
氏 名	学校法人東海大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

東海大学医学部付属病院
-------------

3 所在の場所

〒259-1193 神奈川県伊勢原市下糟屋 1 4 3 電話(0463)93-1121(代)
---

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="radio"/> 1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 <input type="radio"/> 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜
---

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無
内科と組み合わせた診療科名等 1 循環器内科、2 呼吸器内科、3 消化器内科、4 血液腫瘍内科、5 神経内科、 6 リウマチ内科、7 腎内分泌代謝内科、8 総合内科	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	有・ <input checked="" type="radio"/> 無
外科と組み合わせた診療科名 1 心臓血管外科、2 呼吸器外科、3 消化器外科、4 小児外科、5 乳腺内分泌外科、 6 移植外科、7 形成外科	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

<input checked="" type="radio"/> 1精神科	<input checked="" type="radio"/> 2小児科	<input checked="" type="radio"/> 3整形外科	<input checked="" type="radio"/> 4脳神経外科	<input checked="" type="radio"/> 5皮膚科	<input checked="" type="radio"/> 6泌尿器科	7産婦人科
<input checked="" type="radio"/> 8産科	<input checked="" type="radio"/> 9婦人科	<input checked="" type="radio"/> 10眼科	<input checked="" type="radio"/> 11耳鼻咽喉科	12放射線科	13放射線診断科	
<input checked="" type="radio"/> 14放射線治療科	<input checked="" type="radio"/> 15麻酔科	16救急科				

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	<input checked="" type="radio"/> 有・無
歯科と組み合わせた診療科名 1 歯科口腔外科	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 画像診断科、2 リハビリテーション科、3 臨床検査科、4 緩和ケア科、5 病理診断科、 6 救命救急科
--

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
0床	0床	0床	0床	804床	804床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成27年10月 1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	482人	131人	501.3人	看護補助者	165人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	17人	16人	19.1人	理学療法士	22人	臨床検査技師	144人
薬 剤 師	79人	2人	81人	作業療法士	8人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	8人	その他	0人
助産師	27人	1人	28人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	970人	56人	1,016.7人	臨床工学技士	30人	医療社会事業従事者	11人
准看護師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	14人
歯科衛生士	8人	0人	8人	歯科技工士	1人	事務職員	196人
管理栄養士	14人	1人	15人	診療放射線技師	76人	その他の職員	0人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成27年10月 1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	33人	眼科専門医	6人
外科専門医	41人	耳鼻咽喉科専門医	10人
精神科専門医	7人	放射線科専門医	15人
小児科専門医	11人	脳神経外科専門医	12人
皮膚科専門医	3人	整形外科専門医	17人
泌尿器科専門医	8人	麻酔科専門医	16人
産婦人科専門医	19人	救急科専門医	16人
		合 計	214人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	770.6人	13.9人	784.5人
1日当たり平均外来患者数	2,481.1人	106.9人	2,588.0人
1日当たり平均調剤数	1860.7 剤		
必要医師数	221人		
必要歯科医師数	2人		
必要薬剤師数	27人		
必要(准)看護師数	480人		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除し

た数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

### 9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	710.74 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート造（免震）	病床数	32 床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 159.36 m <sup>2</sup> [移動式の場合] 台数 台			病床数	13 床	
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 78.9 m <sup>2</sup> [共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	375.52 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート造（免震）	（主な設備）臨床化学多項目自動分析装置			
細菌検査室	199.38 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート造（免震）	（主な設備）細菌自動分析機			
病理検査室	284.68 m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート造（免震）	（主な設備）ホルマリン対応型切出台・流し台			
病理解剖室	131.40 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート造	（主な設備）ホルマリン対応型流し台・解剖台			
研究室	10,830.76 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート造	（主な設備）			
講義室	1,256.16 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート造	室数	8 室	収容定員	810 人
図書室	2099.45 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート造	室数	1 室	蔵書数	179,300 冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

### 10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成26年4月1日～平成27年3月31日	
紹介率	69.8%	逆紹介率	47.5%
算出根拠	A: 紹介患者の数	22,202人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	19,327人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	6,207人	
	D: 初診の患者の数	40,685人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。





(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

## 高度の医療の提供の実績

### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	55人	・膿疱性乾癬	0人
・多発性硬化症	65人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・重症筋無力症	74人	・原発性胆汁性肝硬変	89人
・全身性エリテマトーデス	541人	・重症急性膵炎	0人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	35人
・再生不良性貧血	52人	・混合性結合組織病	183人
・サルコイドーシス	34人	・原発性免疫不全症候群	189人
・筋萎縮性側索硬化症	14人	・特発性間質性肺炎	35人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	216人	・網膜色素変性症	13人
・特発性血小板減少性紫斑病	79人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	39人	・肺動脈性肺高血圧症	40人
・潰瘍性大腸炎	143人	・神経線維腫症	8人
・大動脈炎症候群	16人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	45人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	16人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	5人
・脊髄小脳変性症	45人	・ライソゾーム病	5人
・クローン病	75人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	49人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	16人	・脊髄性筋委縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	112人	・球脊髄性筋委縮症	0人
・アミロイドーシス	4人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	7人
・後縦靭帯骨化症	18人	・肥大型心筋症	8人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	1人
・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	25人	・ミトコンドリア病	4人
・ウェゲナー肉芽腫症	0人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	7人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	13人	・黄色靭帯骨化症	6人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	147人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・特定機能病院入院基本料(一般7対1)	・病棟薬剤業務実施加算
・臨床研修病院入院診療加算	・データ提出加算2
・救急医療管理加算	・小児入院医療管理料2・4
・超急性期脳卒中加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・妊産婦緊急搬送入院加算	・地域歯科診療支援病院歯科初診料
・診療録管理体制加算1	・歯科外来診療環境体制加算
・急性期看護補助体制加算(25対1)	・歯科診療特別対応連携加算
・看護職員夜間配置加算	・
・療養環境加算	・
・無菌治療室管理加算1・2	・
・緩和ケア診療加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1・感染防止対策地域連携加算	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・退院調整加算	・
・救急搬送患者地域連携紹介加算	・
・呼吸ケアチーム加算	・
・救命救急入院料3・4	・
・特定集中治療室管理料4	・
・総合周産期特定集中治療室管理料(母胎・胎児、新生児)	・
・新生児治療回復室入院医療管理料	・

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行加算)	・遺伝カウンセリング加算
・高度難聴指導管理料	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・糖尿病合併症管理料	・埋込型心電図検査
・がん性疼痛緩和指導管理料	・時間内歩行試験
・がん患者指導管理料1・2	・胎児心エコー法
・外来緩和ケア管理料	・ヘッドアップティルト試験
・移植後患者指導管理料1・2	・皮下連続式グルコース測定
・糖尿病透析予防指導管理料	・神経学的検査
・院内トリアージ実施料	・補聴器適合検査
・外来放射線照射診療料	・小児食物アレルギー負荷検査
・地域連携診療計画管理料	・内服・点滴誘発試験
・がん治療連携計画策定料	・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)
・がん治療連携管理料	・画像診断管理加算1・2
・認知症専門診断管理料	・遠隔画像診断
・肝炎インターフェロン治療管理料	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・薬剤管理指導料	・ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影
・医療機器安全管理料1・2	・CT撮影及びMRI撮影
・医療機器安全管理料(歯科)	・冠動脈CT撮影加算
・在宅血液透析指導管理料	・外傷全身CT加算
・持続血糖測定器加算	・大腸CT撮影加算
・造血器腫瘍遺伝子検査	・心臓MRI撮影加算
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・外来化学療法加算1
・検体検査管理加算 I・IV	・無菌製剤処理料
・運動器リハビリテーション料(I)	・心大血管疾患リハビリテーション料(I)
・呼吸器リハビリテーション料(I)	・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
・乳がんセンチネルリンパ節加算1・2	・がん患者リハビリテーション料

施設基準の種類	施設基準の種類
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの・副甲状腺に対するもの)	・病理診断管理加算2
・定位放射線治療	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・透析液水質確保加算2	・経皮的冠動脈形成術
・一酸化窒素吸入療法	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・経皮的冠動脈ステント留置術
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・経皮的中隔心筋焼灼術
・腫瘍脊椎骨全摘術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術(レーザーシースを用いるもの)
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・上顎洞形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、 下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)	・補助人工心臓
・体外衝撃波腓石破碎術	・経皮的大動脈遮断術
・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術	・ダメージコントロール手術
・体外衝撃波腎・尿管破碎術	・体外衝撃波胆石破碎術
・生体腎移植術	・腹腔鏡下肝切除術
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部手術の通則4を含む。)に掲げる手術	・同種死体腎移植術
・輸血適正使用加算	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・内視鏡手術用支援機器加算	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る)
・外来放射線治療加算	・輸血管理料 I
・1回線量増加加算	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・画像誘導放射線治療加算(IGRT)	・麻酔管理料(I)・(II)
・定位放射線治療呼吸性移動対策加算	・放射線治療専任加算
・歯科矯正診断料	・高エネルギー放射線治療
・歯科治療総合医療管理料	・強度変調放射線治療(IMRT)
・クラウン・ブリッジ維持管理料	・体外照射呼吸性移動対策加算

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯周組織再生誘導手術	・歯科技工加算
・歯科口腔リハビリテーション料2	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術



## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
miRNAはB細胞運命決定において転写因子を超えられるか？	幸谷 愛	血液・腫瘍内科学	1,500,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
慢性腎臓病進行の機序	松阪 泰二	腎・代謝内科学	7,000,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
鳥・航空機および鳥・鳥無線通信による鳥インフルエンザモニタ網の基礎研究	中島 功	救命救急医学	7,100,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
血小板細胞の構成論的理解による心筋梗塞発症メカニズムの理解と制御法の開発	後藤 信哉	循環器内科学	2,700,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
造血幹細胞ニッチを標的とした新規白血病治療法の開発	安藤 潔	血液・腫瘍内科学	2,700,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
プラズマ技術を用いた表面形状・薬剤徐放制御による大動脈ステントグラフト材料の開発	長谷部光泉	画像診断学	1,200,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
造血幹細胞移植後肺合併症とレニン・アンギオテンシン系	鬼塚 真仁	血液・腫瘍内科学	100,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
関節リウマチ骨破壊に果たすTh17細胞関連サイトカインの役割	鈴木 康夫	リウマチ内科学	1,200,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
ライノおよびRSウイルス感染による喘息増悪メカニズムの解析と原因ゲノムアレイ検索	加藤 政彦	小児科学	1,200,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
抗菌活性を持つ培養皮膚の生体内における機能の解析	猪口 貞樹	救命救急医学	800,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
椎間板線維輪再生に向けた至的細胞ソースの解析研究	酒井 大輔	整形外科学	1,200,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
吸入麻酔薬セボフルランの鎮痛作用に関する研究	金澤 正浩	麻酔科学	1,000,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
多能性幹細胞移植による頭頸部癌術後機能回復のための再生医療の研究	大上 研二	耳鼻咽喉科学	700,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
肘部尺骨神経障害の電気診断検査法	児玉 三彦	リハビリテーション科学	200,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
嚥下時の舌骨・喉頭挙上を改善する等尺性開口筋訓練法の確立	小山 祐司	リハビリテーション科学	800,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
筋萎縮性側索硬化症発症機序におけるイントール6リン酸キナーゼの役割	永田栄一郎	神経内科学	1,600,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
高学習能ラットを規定する分子制御機構の包括的解析	吉井 文均	神経内科学	1,500,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
LC-MSMSによるアコニチン、アマニチン、テロドトキシンの一斉分析法の開発	斉藤 剛	救命救急医学	1,000,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
慢性閉塞性肺疾患の感受性遺伝子の網羅的同定と機能解析	青木 琢也	呼吸器内科学	1,300,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
カルボニルストレス軽減・腹膜透析患者腹膜庇護薬「ピロキサミン」の開発	角田 隆俊	腎・代謝内科学	1,000,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
透析患者の診療内容、バイオマーカーと予後に関する大規模観察研究の計画	深川 雅史	腎・代謝内科学	1,300,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
メタボローム解析による重症喘息の分子フェノタイピング	浅野浩一郎	呼吸器内科学	1,400,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
胎児胎盤羊膜系の母児連関に関与する因子と作用機構の解明	石本 人士	産婦人科学	1,100,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
金ナノ粒子増感効果による超適応治療に向けての基礎研究	小松 哲也	放射線治療科学	1,400,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
移植腎Klothoの腎移植後ミネラル代謝における役割と腎・生命予後への影響	中村 道郎	移植外科学	1,400,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
損傷脊髄の再髄鞘形成に対するアミロライドの効果(小胞体ストレス応答能増強による)	渡辺 雅彦	整形外科学	1,500,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
低酸素によるがん疼痛に関する研究	安心院純子	麻酔科学	1,000,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
口腔扁平上皮癌における真に有用な分子標的薬耐性マーカーの開発	山崎 浩史	口腔外科学	1,200,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
脳卒中片麻痺患者歩行障害に対する経皮的脊髄電気刺激による歩行機能再建	藤原 俊之	リハビリテーション科学	1,700,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
Notchシグナル活性化による骨代謝制御と骨肉腫発症の分子メカニズムの解明	六車ゆかり	血液・腫瘍内科学	1,500,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
ウサギ除神経モデルにおけるMIBGを用いた交感神経増生の検討	網野 真理	救命救急医学	900,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
アレルギー性気管支肺真菌症の新規治療標的分子の同定	小熊 剛	呼吸器内科学	1,700,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
新規血管再生促進性培養細胞移植による脳梗塞治療法の開発	瀧澤 俊也	神経内科学	1,400,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
先天性腎尿路形態異常の発症における抗酸化防御機構の関与	新村 文男	小児科学	1,300,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
脳梗塞後うつ病のリスクファクターの解明と治療システムの構築	三上 克央	精神科学	1,000,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
新発想による日本発次世代高精度放射線治療アルゴリズムの実証	國枝 悦夫	放射線治療科学	1,700,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
腹腔鏡下噴門側胃切除術後再建法別機能評価とQOLに関する研究	野村 栄治	消化器外科学	400,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
メタボロミクスを活用した食道癌特異的代謝機構の解明と新しいバイオマーカーの探索	小澤 壯治	消化器外科学	1,400,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
3次元仮想現実感による胆膵外科手術支援システムの構築と評価	中郡 聡夫	消化器外科学	1,100,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
MRI情報を活用した頭蓋内血流と髄液循環動態の流体力学的解析	松前 光紀	脳神経外科学	1,300,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
椎間板変性におけるWntシグナルとアラキドン酸カスケードとの分子メカニズムの解析	檜山 明彦	整形外科	1,500,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
モルヒネの鎮痛耐性形成に対するNMDA受容体活性調節因子D-セリンの作用	伊藤 健二	麻酔科学	1,900,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
糖ペプチドをターゲットとしたCA125の弱点を補う卵巣癌新規バイオマーカーの開発	三上 幹男	産婦人科学	1,200,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
口腔癌に対するクロノセラピーの応用ー特にメラトニンを用いた人為的位相についてー	大鶴 光信	口腔外科学	900,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
呼吸性移動腫瘍に対する四次元放射線治療における投与線量検証システムの開発	藤田 幸男	放射線治療科学	600,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
抗HER2抗体エピトープペプチドワクチンのヒト化マウスを用いた有効性の検討	津田 万里	乳腺・内分泌外科学	1,600,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
回転セリウム微小血管造影装置での心筋再生医療効果判定	田中 千陽	心臓血管外科学	2,000,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
椎間板由来、体性幹細胞を用いた末梢神経再生における基礎的研究	石井 崇之	整形外科	900,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
抗VEGF抗体関節内投与による関節治療の可能性	長井 敏洋	整形外科	1,100,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
血管形成能を有する複合型培養皮膚の開発	今川孝太郎	形成外科学	500,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
老化T細胞の再活性化に注目した新たな高齢者敗血症治療戦略	井上 茂亮	救命救急医学	1,400,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
先天性上肢欠損、外傷性上肢切断に対する個性適応型情報処理に基づいた筋電義手の開発	高木 岳彦	整形外科	1,700,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
ヒトiPS細胞由来肝・前駆細胞の増殖分化の分子メカニズム	鶴谷 康太	消化器内科学	1,400,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
ナノダイヤモンドを用いた新規MRI造影剤のMRリンパ管造影への応用	松本 知博	画像診断学	1,600,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
損傷脊髄の再髄鞘形成に対するアミロライドの効果	今井 洸	整形外科	1,100,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
乳癌におけるアンドロゲンレセプターをターゲットとした治療の開発	新倉 直樹	乳腺・内分泌外科学	1,500,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
複合型幹細胞シートを用いた放射線肺炎・線維症の治療	玉井 好史	放射線治療科学	700,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
非利き手でも施行できる二重課題の開発:分配性注意障害の臨床検査として	豊倉 穰	リハビリテーション科学	800,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業
人工スーパー癌細胞を用いた革新的治療法開発に向けて	幸谷 愛	血液・腫瘍内科学	1,200,000	補委	文部科学省 科学研究費助成事業

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
卵巣癌におけるアイソフォーム特異的TrkBシグナルのEMT関連機能解析	後藤優美子	産婦人科学	700,000	補委 文部科学省 科学研究費助成事業
環境臭気分析による細菌同定法の開発	梅澤 和夫	救命救急医学	1,000,000	補委 文部科学省 科学研究費助成事業
アテロコラーゲン細胞シート複合体による軟骨修復効果	佐藤 正人	整形外科科学	1,100,000	補委 文部科学省 科学研究費助成事業
鳥用埋め込み型抗原抗体反応センサの開発研究	中島 功	救命救急医学	1,600,000	補委 文部科学省 科学研究費助成事業
患児の自己臍帯血由来細胞を用いた唇顎口蓋裂児の顎裂再建治療の基礎研究	赤松 正	形成外科学	1,600,000	補委 文部科学省 科学研究費助成事業
多発性硬化症・アルツハイマー病治療薬に関する研究	瀧澤 俊也	神経内科学	3,846,000	補委 独立行政法人 医薬基盤研究所
癌細胞由来小分子RNAによる炎症細胞の制御	幸谷 愛	血液・腫瘍内科学	13,920,000	補委 独立行政法人 科学技術振興機構
抗血小板薬効予測を可能とする階層統合シミュレータの開発に向けたモデリング	後藤 信哉	循環器内科学	4,545,455	補委 独立行政法人 理化学研究所
リンパ系腫瘍・多発性骨髄腫に対する標準的治療確立のための多施設共同研究	安藤 潔	血液・腫瘍内科学	500,000	補委 独立行政法人 国立がん研究センター
新規PAI-1 阻害剤による慢性骨髄性白血病(CML)根治の作用機序解明	安藤 潔	血液・腫瘍内科学	3,070,000	補委 独立行政法人 科学技術振興機構
がん幹細胞を標的とした根治療法の開発	安藤 潔	血液・腫瘍内科学	1,818,182	補委 国立大学法人 東北大学
ヒ尿細管細胞を用いたバイオ人工尿管デバイスの試作開発	角田 隆俊	腎・代謝内科学	19,044,586	補委 公益財団法人木原記念 横浜生命科学振興財団
胃がんに対する標準治療確立のための多施設共同研究	小澤 壯治	消化器外科学	400,000	補委 独立行政法人 国立がん研究センター
気管支ぜん息の発症、増悪予防に関する調査研究	望月 博之	小児科学	4,319,425	補委 独立行政法人 環境再生保全機構
小児気管支喘息の発症とIL-33発現機序に関する研究	望月 博之	小児科学	400,000	補委 独立行政法人 国立成育医療研究センター
粒子線治療における腫瘍の線量応答性観測システムの開発	株木 重人	放射線治療科学	400,000	補委 独立行政法人 国立がん研究センター
再生アソシエイト細胞によるiPS細胞移植時の免疫寛容治療研究	浅原 孝之	再生医療科学	30,000,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
アレルギー性気管支肺真菌症の診断・治療指針確立のための調査研究	浅野浩一郎	呼吸器内科学	7,693,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
関節治療を加速する細胞シートによる再生医療の実現	佐藤 正人	整形外科科学	38,000,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
慢性期脳卒中患者における重度上肢機能障害に対する革新的治療法の実用化研究:ランダム化比較試験によるブレンマシニンインターフェース(BMI)リハビリテーションの効果の検討	藤原 俊之	リハビリテーション科学	17,308,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金
治療の実施に関する研究【モノエタノールアミノレイン酸塩】 【治療名】モノエタノールアミノレイン酸塩を使用するバルーン閉塞下逆行性経静脈塞栓術(BRTO)による胃静脈瘤治療の有効性及び安全性の検討	小泉 淳	画像診断学	1,000,000	補委 厚生労働省 科学研究費補助金

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	厚見 秀樹	医学部外科学系脳神経外科学	Measurements of intracranial pressure and compliance index using 1.5-T clinical MRI machine.	Tokai J Exp Clin Med,Vol. 39, No. 1,34-43,2014
2	市川 珠紀	医学部専門診療学系画像診断学	Detection of early esophageal cancer and cervical lymph node metastases by 18F-FDG PET/CT in a patient with Fanconianemia	Clinical Nuclear Medicine,Vol. 39. No 5,459-461,2014
3	鈴木 康夫	医学部内科学系リウマチ内科学	Guidelines on the management and treatment of glucocorticoid-induced osteoporosis of the Japanese Society for Bone and Mineral Research:2014 update	J.Bone.Miner.Metab,Vol.32,337-350,2014
4	加川 建弘	医学部内科学系消化器内科学	Ursodeoxychic acid stabilizes the bile salt export pump in the apical membrane in MDCK II cells	J Gastroenterol,Vol.49.5,890-899,2014
5	中川 知己	医学部外科学系呼吸器外科学	pyothorax-associated lymphoma:complete remission achieved by chemotherapy alone	General Thoracic and Cardiovascular Surgery,volume62 number4 2014,258-261,2014
6	齊藤 剛	医学部外科学系救命救急医学	A rapid sample preparation procedure using MonoSpin CBA and Amide columns for tetrodotoxin detection in serum and urine using LC-MS/MS analysis	Chromatographia,77,687-693,2014
7	伊藤 美保	医学部外科学系麻酔科学	Antinociceptive effect of intracerebroventricular administration of D-serine on formalin-induced pain	Journal of Anesthesia,28巻 2号,228-234,2014
8	中島 功	医学部外科学系救命救急医学	A Study on Small Generator of Electromagnetic Coil for Subcutaneous Implantation	ISOB2014 - 20th Symposium of the International Society on Biotelemetry - Proceedings,2014,81-83,2014
9	武市 悠	医学部外科学系呼吸器外科学	Liposome-encapsulated hemoglobin accelerates bronchial healing after pneumonectomy in the rat without or with preoperative radiotherapy	Artificial organs,38,634-640,2014
10	小山 祐司	医学部専門診療学系リハビリテーション科学	Swallowing Appliance : Intraoral Reshaping Prosthesis for Dysphagia Secondary to Oral Floor Cancer : A Pilot Study	American Journal of Physical Medicine and Rehabilitation,volume 93, Number 11,1008-1013,2014
11	後藤優美子	医学部専門診療学系産婦人科学	Defect of tropomyosin-related kinase B isotype expression in ovarian clear cell adenocarcinoma.	Biosci Trends,8(2),93-100.,2014
12	高橋 浩雄	医学部内科学系腎・代謝内科学	Impact of parathyroidectomy on serum FGF23 and soluble klotho in hemodialysis patients with severe secondary hyperparathyroidism	J Clin Endocrinol Metab,99,E652-658,2014
13	沖 将行	医学部内科学系総合内科学	A Case of Quadruple Malaria Infection Imported from Mozambique to Japan	The American Journal of Tropical Medicine and Hygiene,90(6),1098-1101,2014
14	海老原明典	医学部内科学系呼吸器内科学	Indicator of arteriosclerosis in patients with COPD	Health Evaluation and Promotion,Volume41(4),16(528)-20(532),2014

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
15	海老原明典	医学部内科学系呼吸器内科学	Relationship between Early Exposure to Tobacco Smoke and Intima Media Thickness (IMT) in COPD patients	Health Evaluation and Promotion,Volume41(4),12(524)-15(527),2014
16	眞鍋 泰明	医学部専門診療学系皮膚科学	A case of delayed flare-up allergic dermatitis caused by jellyfish sting	The Tokai Journal of Experimental and clinical medicine,39,90-94,2014
17	扇屋 大輔	医学部内科学系血液・腫瘍内科学	Strong effect of mogamulizumab on splenic residual disease of adult T cell leukemia/lymphoma	Annals of Hematology,93(4),719-720,2014
18	守田 誠司	医学部外科学系救命救急医学	Plasma lactate concentration as an indicator of plasma caffeine concentration in acute caffeine poisoning	Acute Medicine and Surgery,Volume 1, Issue 3, July 2014,159-162,2014
19	櫻井 馨士	医学部外科学系救命救急医学	Non-traumatic bilateral orbital subperiosteal hematoma in a person who attempted suicide by hanging	The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine,39,100-101,2014
20	三浦 正明	医学部外科学系麻酔科学	Visibility of Ultrasound-guided Echogenic Needle and Its Potential in Clinical Delivery of Regional Anesthesia	The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine,Vol.39, No.2,pp.80-86,2014
21	田島 隆行	医学部外科学系消化器外科学	Comparison of hand-assisted laparoscopic surgery and conventional laparotomy for colorectal cancer:Interim results from a single institution	Oncology letters,8,627-632,2014
22	後藤 信哉	医学部内科学系循環器内科学	Efficacy and Safety of Apixaban Compared with Warfarin for Stroke Prevention in Patients with Atrial Fibrillation from East Asia: A Sub-Analysis of the Apixaban for Reduction in Stroke and Other Thromboembolic Events in Atrial Fibrillation (ARISTOTLE) Tri	American Heart Journal,168(3),303-309,2014
23	網野 真理	医学部外科学系救命救急医学	Systematic review of the use of intravenous amiodarone and nifekalant for cardiopulmonary resuscitation in Japan.	J Arrhythmia,30,180-185,2014
24	古泉 貴久	医学部外科学系呼吸器外科学	Successful treatment of penetrating chest injury caused by a crossbow	Tokai J Exp Clin Med.,39(2),,2014
25	佐藤 慎二	医学部内科学系リウマチ内科学	Clinical Phenotype of Japanese Patients with Dermatomyositis Classification Based on Dermatomyositis-Specific Autoantibodies	Open Journal of Rheumatology and Autoimmune Diseases,4(2),124-130,2014
26	市川 珠紀	医学部専門診療学系画像診断学	A case of combined paratracheal air cyst and accessory cardiac bronchus	Tokai J Exp Clin Med,39,87-89,2014
27	貞廣 莊太郎	医学部外科学系消化器外科学	Relationship between histologic response and the degree of tumor shrinkage after chemoradiotherapy in patients with locally advanced rectal cancer	Journal of Surgical Oncology,109(7),659-664,2014
28	馬淵 智生	医学部専門診療学系皮膚科学	Case of generalized pustular psoriasis with end-stage renal disease successfully treated with granulocyte monocyte apheresis in combination with hemodialysis	THE JOURNAL OF DERMATOLOGY,Vol.41,521-524,2014
29	太田 多美	医学部専門診療学系皮膚科学	Notch signaling may be involved in the abnormal differentiation of epidermal keratinocytes in psoriasis	Acta Histochemica Cytochemica,47,175-183,2014

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
30	千野 修	医学部外科学系消化器外科学	Multiple early carcinomas of the esophagus associated with achalasia treated by endoscopic submucosal dissection	Annals of Cancer Research and Therapy, Vol. 22, No. 1, 1-5, 2014
31	川口 義明	医学部内科学系消化器内科学	An Intraductal Papillary Neoplasm of the Bile Duct at the Duodenal Papilla	Case Reports in Oncology, 7, 417-421, 2014
32	小路 直	医学部外科学系泌尿器科学	Intraoperative ultrasonography with a surgeon-manipulated microtransducer during robotic radical prostatectomy.	International Journal of Urology, 21巻7号, p.736-739, 2014
33	五十嵐宗喜	医学部内科学系消化器内科学	Correlation between the Serum Pepsinogen I Level and the Symptom Degree in Proton Pump Inhibitor-Users Administered with a Probiotic	Pharmaceuticals, 7, 754-764, 2014
34	竹山 和秀	医学部外科学系麻酔科学	Intraperitoneal Residual Contrast Agent from Hysterosalpingography Detected Following Cesarean Section	Tokai J Exp Clin Med, Vol. 39, No. 2, pp. 69-71, 2014
35	大上 研二	医学部専門診療学系耳鼻咽喉科学	Prevalence of Human Papillomavirus in Oropharyngeal Cancer: A Multicenter Study in Japan	Oncology, 87, 173-182, 2014
36	市川 珠紀	医学部専門診療学系画像診断学	A case of right double inferior vena cava with circumcaval urter	Japanese Journal of Radiology, Vol. 32 No. 7, 421-424, 2014
37	古川 大輔	医学部外科学系消化器外科学	Zink finger protein 185 is a liver metastasis-associated factor in colon cancer patients	Molecular and Clinical Oncology, 2, 709 - 713, 2014
38	峯 徹哉	医学部内科学系消化器内科学	Bacterial translocationとは	G.I Research, vol. 22 No. 4, 307-310, 2014
39	加藤 政彦	医学部専門診療学系小児科学	Age at onset of asthma and allergen sensitization early in life	Allergology International, 63 (Suppl 1), 23-28, 2014
40	安藤 潔	医学部内科学系血液・腫瘍内科学	A multicentre phase II study of vorinostat in patients with relapsed or refractory indolent B-cell non-Hodgkin lymphoma and mantle cell lymphoma.	Br J Haematol, 165(6), 768-776, 2014
41	岡田 和丈	医学部外科学系消化器外科学	Effects of chemoradiotherapy on lymph nodes in patients with rectal adenocarcinoma: evaluation of numbers and sizes of retrieved lymph nodes inside and outside the radiation field.	Anticancer Research, 34(8), 4195-4200, 2014
42	馬淵 智生	医学部専門診療学系皮膚科学	HLA-C*12:02 is a susceptibility factor in late-onset type of psoriasis in Japanese	THE JOURNAL OF DERMATOLOGY, Vol. 41, 697-704, 2014
43	小路 直	医学部外科学系泌尿器科学	Time-dependent change of blood flow in the prostate treated with high-intensity focused ultrasound	International Journal of Urology, 21(9), p.942-5, 2014
44	鈴木 孝良	医学部内科学系消化器内科学	Association between Helicobacter pylori infection and idiopathic thrombocytopenic purpura in adults	Blood Disorders and Transfusion, 5, 1-5, 2014
45	仁科 良	医学部内科学系総合内科学	A 10-year retrospective cohort study on the risk factors for peritoneal dialysis-related peritonitis: a single-center study at Tokai University Hospital	Clinical and Experimental Nephrology, 2014年 18巻4号, 649-654, 2014

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
46	三上 幹男	医学部専門診療学系産婦人科学	Surgical Principles for Managing Stage I B2, II A2, and II B Uterine Cervical Cancer (Bulky Tumors)in Japan A Survey of the Japanese Gynecologic Oncology Group	International Journal of Gynecological Cancer,24(7),1333-1340,2014
47	小熊 剛	医学部内科学系呼吸器内科学	Endobronchial Hamartoma as a Cause of Pneumonia	The American Journal of Case Reports,15,388-92,2014
48	堀田 和子	医学部外科学系脳神経外科学	Risks and benefits of CT angiography in spontaneous intracerebral hemorrhage.	Acta neurochirurgica (Wien),156,911-917,2014
49	長井 敏洋	医学部外科学系整形外科	Bevacizumab, an anti-vascular endothelial growth factor antibody, inhibits osteoarthritis	Arthritis Research and Therapy,volume 16 Issue 5,427,2014
50	川田 浩志	医学部内科学系血液・腫瘍内科学	Phase I Clinical Trial of Intravenous L-ascorbic Acid Following Salvage Chemotherapy for Relapsed B-cell non-Hodgkin's Lymphoma.	The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine,39巻,111-115,2014
51	三上 幹男	医学部専門診療学系産婦人科学	Role of lymphadenectomy for ovarian cancer	Journal of Gynecologic Oncology,vol.25 No.4,279-281,2014
52	後藤 信哉	医学部内科学系循環器内科学	J-TRACE (Japan Thrombosis Registry for Atrial Fibrillation, Coronary or Cerebrovascular Events))	最新臨床脳卒中学,下 増刊,664-667,2014
53	幸谷 愛	医学部内科学系血液・腫瘍内科学	Genomic mutator Activation-induced cytidine deaminase (AID) as a therapeutic target	Rinsho Ketsueki,55(7),780-4,2014
54	川口 義明	医学部内科学系消化器内科学	Amenorrhea as a rare drug-related adverse event associated with everolimus for pancreatic neuroendocrine tumors	World Journal of Gastroenterology,Vol.20 42,15920-15924,2014
55	星 昭夫	医学部外科学系泌尿器科学	Total pelvic floor reconstruction during non-nerve-sparing laparoscopic radical prostatectomy: Impact on early recovery of urinary continence	International Journal of Urology,21,1132-1137,2014
56	菅原 章友	医学部専門診療学系放射線治療科学	Effect of adjuvant radiotherapy on survival in resected pancreatic cancer: A propensity score surveillance, epidemiology, and end results database analysis.	Journal of Surgical Oncology,Volume 110, Issue 8,960-966,2014
57	佐藤 慎二	医学部内科学系リウマチ内科学	A Case of Sarcoidosis with Interstitial Lung Disease Mimicking Clinically Amyopathic Dermatomyositis and Rapidly Progressive Interstitial Lung Disease	Case Reports in Rheumatology,Volume 2014,Article ID 195617, 4 pages,2014
58	檜山 明彦	医学部外科学系整形外科	Relationships between posterior ligamentous complex injury and radiographic parameters in patients with thoracolumbar burst fractures	Injury,,2014
59	酒井 昭博	医学部専門診療学系耳鼻咽喉科学	A new technique to expose the hypopharyngeal space: The modified Killian's method.	Auris Nasus Larynx,41,207-210,2014
60	新井 信	医学部専門診療学系漢方医学	Postgraduate education of traditional Japanese (Kampo) medicine: A current survey on the training hospitals in Kanagawa prefecture.	Tokai J Exp Clin Med,39(4),186-192,2014

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
61	西山 純一	医学部外科学系麻酔科学	Effect of Power Crisis Caused By Earthquake on Operating Room Environment	Journal of Anesthesia & Clinical Reserch (Open Access),Vol.5 (Issue 9),446,2014
62	湯原 宏樹	医学部内科学系消化器内科学	Smoking and risk for acute pancreatitis a systematic review and meta-analysis	Pancreas journal,Vol.43 No.8,1201-1207,2014
63	後藤 信哉	医学部内科学系循環器内科学	How Can We Bridge the Results of Global Clinical Trials and Region/Country Specific Clinical Practice by Region/Country Specific Registry Data?	Circulation Journal,79(2),287-288,2014
64	檜山 明彦	医学部外科学系整形外科	Evaluation of Quality of Life and Neuropathic Pain in Patients with Low Back Pain Using the Japanese Orthopaedic Association Back Pain Evaluation Questionnaire	European Spine Journal,,2014
65	小松 文成	医学部外科学系脳神経外科学	Endoscopic endonasal approach to the middle cranial fossa through the cavernous sinus triangles: Anatomical considerations	Neurologia Medico-chirurgica(Tokyo),54,1004-1008,2014
66	市川 珠紀	医学部専門診療学系画像診断学	A case of right renal artery originating from the thoracic aorta	Japanese Journal of Radiology,Volume 32,716-720,2014
67	鈴木 孝良	医学部内科学系消化器内科学	Investigation of the association of TLR2 and TLR4 polymorphisms with susceptibility to Helicobacter pylori-related gastrointestinal diseases.	Open J Internal Medicine,4,130-136,2014
68	中村 健司	医学部外科学系消化器外科学	Clinicopathologic Features and Clinical Outcomes of Gastric Cancer Patients with Bone Metastasis	Tokai J Exp Clin Med,Vol. 39, No. 4,193-198,2014
69	児玉 三彦	医学部専門診療学系リハビリテーション科学	What is the most sensitive test for diagnosing carpal tunnel syndrome?	Tokai J Exp Clin Med,39(4),172-177,2014
70	後藤 信哉	医学部内科学系循環器内科学	Platelet Small in Size but Play Essential in Regulation of Vascular Homeostasis. -From Basic Research to Clinical Medicine-	Circulation Journal,,in press,2014
71	篠崎 法彦	医学部内科学系循環器内科学	Effective emergent endovascular recanalization for acute coronary syndrome with left subclavian artery occlusion in a prior coronary artery bypass graft patient.	Cardiovasc Interv Ther,29(4),368-71,2014
72	篠崎 法彦	医学部内科学系循環器内科学	Plaque Protrusion Detected by Intravascular Ultrasound during Carotid Artery Stenting.	J Stroke Cerebrovasc Dis,23,10,2014
73	神田 茂孝	医学部内科学系循環器内科学	Effects of a combination of losartan and hydrochlorothiazide in patients with hypertension and a history of heart failure.	Tokai J Exp Clin Med,39,1-4,2014
74	藤井 敏晴	医学部内科学系循環器内科学	Diagnostic Accuracy of Global Registry of Acute Coronary Events (GRACE) Risk Score in ST-Elevation Myocardial Infarction for In-Hospital and 360-Day Mortality in Japanese Patients.	Circ J 2014. Oct 6,78(12),2950-4,2014
75	藤井 敏晴	医学部内科学系循環器内科学	Impact of transport pathways on the time from symptom onset of ST-segment elevation myocardial infarction to door of coronary intervention facility.	J Cardiol,64,11-8,2014

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
76	藤井 敏晴	医学部内科学系循環器内科学	Impact of transient or persistent slow flow and adjunctive distal protection on mortality in ST-segment elevation myocardial infarction.	Cardiovasc Interv Ther 2014. Sep 2,14,295,2014
77	馬淵 智生	医学部専門診療学系皮膚科学	Elevation of serum KL-6 levels during treatment with tumor necrosis factor- $\alpha$ inhibitor in patients with psoriasis	THE JOURNAL OF DERMATOLOGY,vol.41,1136-1137,2014
78	伊藤 裕幸	医学部内科学系消化器内科学	A Case of Pancreatic Intraepithelial Neoplasia That Was Difficult to Diagnose Preoperatively	Case Reports in Oncology,8,30-36,2014
79	加川 建弘	医学部内科学系消化器内科学	Recessive inheritance of population-specific intronic LINE-1 insertion causes a Rotor syndrome phenotype.	Human Mutation,doi: 10.1002/humu.22745,,2014
80	川口 義明	医学部内科学系消化器内科学	Endoscopic papillary large balloon dilation for removal of bile duct stones	World J Gastroenterol,20(45),17148-17154,2014
81	川口 義明	医学部内科学系消化器内科学	Isolated intrapancreatic IgG4-related sclerosing cholangitis	World J Gastroenterol,21(4),1049-1370,2014
82	望月 博之	医学部専門診療学系小児科学	Ultra-pure soft water improves skin barrier function in children with atopic dermatitis: a randomized, double-blind, placebo-controlled, crossover pilot study.	J Dermatol Sci,76(3),269-71,2014
83	望月 博之	医学部専門診療学系小児科学	Recent advance in investigation of gene polymorphisms in Japanese patients with aspirin-exacerbated respiratory disease.	Allergol Immunopathol,43(1),92-100,2014
84	比留川 喬	医学部内科学系腎・代謝内科学	Kidney Diseases Enhance Expression of Tetraspanin-8: A Possible Protective Effect against Tubular Injury.	Nephron Extra,4(1),70-81,2014
85	川口 義明	医学部内科学系消化器内科学	Relationship between Pain and Plasma Amino Acid Levels in Chronic Pancreatitis	JOP,16(1),53-57,2014
86	吉岡公一郎	医学部内科学系循環器内科学	Incidence of Positive Ventricular Late Potentials Differs in Postural Changes among Supine, Left, and Right Lateral Decubitus, and Prone and Sitting Positions in Brugada Syndrome.	Ann Noninvasive Electrocardiol 2014.,original article,,2014
87	中澤 学	医学部内科学系循環器内科学	Comparison of vascular response between durable and biodegradable polymer-based drug-eluting stents in a porcine coronary artery model.	EuroIntervention,2014;10,717-23,2014
88	藤井 敏晴	医学部内科学系循環器内科学	Visualization of microvessels by angiography using inverse-Compton scattering X-rays in animal models.	J Synchrotron Radiat 2014,21,1327-32,2014
89	渡辺 雅彦	医学部外科学系整形外科	Analysis of predisposing factors in elderly people with Type II odontoid fracture	The Spine Journal,14,861-866,2014
90	黒岩 真弘	医学部外科学系整形外科	Effect of amiloride on endoplasmic reticulum stress response in the injured spinal cord of rats	European journal of Neuroscience,Vol. 40, pp. 3120-3127, 2014,,2014

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
91	長 泰則	医学部外科学系心臓血管外科学	Internal mammary arterio-cardiac venous shunt enhances angiogenesis of bone marrow mononuclear cells in swine.	Exp Clin Cardiol,2014;20(9),5625-5655,2014
92	藤田 幸男	医学部専門診療学系放射線治療科学	BREMSSTRAHLUNG AND PHOTONEUTRON PRODUCTION IN A STEEL SHIELD FOR 15-22-MEV CLINICAL ELECTRON BEAMS.	Radiation Protection Dosimetry,55,148-159,2014
93	小路 直	医学部外科学系泌尿器科学	Manually controlled targeted prostate biopsy with real-time fusion imaging of multiparametric magnetic resonance imaging and transrectal ultrasound :An early experience	International Journal of Urology,22 (2),p.173-8,2014
94	小路 直	医学部外科学系泌尿器科学	Response to Editorial Comment to Manually controlled targeted prostate biopsy with real-time fusion imaging of multiparametric magnetic resonance and transrectal ultrasound: An early experience	International Journal of Urology,22 (2),p.179-80.,2014
95	高木 岳彦	医学部外科学系整形外科科学	Gentle Manual Reduction for Traumatic Bowing Plastic Deformation of the Ulna With Radial Head Dislocation.	J Hand Surg Am,39(11),2346-8,2014
96	高木 岳彦	医学部外科学系整形外科科学	Bone lengthening of the radius with temporary external fixation of the wrist for mild radial club hand	J Plast Reconstr Aesthet Surg,67(12),1688-93,2014
97	駒場 大峰	医学部内科学系腎・代謝内科学	Survival advantage of lanthanum carbonate for hemodialysis patients with uncontrolled hyperphosphatemia	Nephrology Dialysis Transplantation,30,107-114,2014
98	鶴養 拓	医学部外科学系整形外科科学	Diffusion tensor imaging can detect the early stages of cartilage damage: a comparison study	BMC Musculoskeletal Disorders,,,2014
99	村山 広道	医学部内科学系血液・腫瘍内科学	Erythrophagocytosis by blasts in acute myeloid leukaemia harbouring the BCR-ABL 1 fusion gene	BRITISH JOURNAL OF HAEMATOLOGY,167(5),586,2014
100	三谷 玄弥	医学部外科学系整形外科科学	Tibia Rotational Technique to Drill Femoral Bone Tunnel in Anatomic Double-Bundle Anterior Cruciate Ligament Reconstruction	Arthroscopy Techniques,Volume 3, Issue 4,Pages e495-e499,2014
101	池田 全良	医学部外科学系整形外科科学	Conservative treatment using a newly designed custom-made wrist splint for ulnocarpal abutment syndrome.	Prosthetics and Orthotics International,2014 Jul 15. pii: 030936461454,2014 Jul 15. pii: 0309364614541459. [Epub ahead of print],2014
102	田島 隆行	医学部外科学系消化器外科学	Comparison of hand-assisted laparoscopic surgery and conventional laparotomy for rectal cancer: Interim results from a single center.	Molecular and clinical oncology,3,533-538,2014
103	高橋 若生	医学部内科学系神経内科学	Streptococcus agalactiae infective endocarditis with multiple cerebral hemorrhages: A case report	Journal of Neuroimaging,Online version,1-3 DOI: 10.1111/jon.12157,2014
104	深川 雅史	医学部内科学系腎・代謝内科学	Abnormal mineral metabolism and mortality in hemodialysis patients with secondary hyperparathyroidism: evidence from marginal structural models used to adjust for time-dependent confounding	American Journal of Kidney Diseases,63,979-987,2014

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
105	持田 譲治	医学部外科学系整形外科	Intervertebral disc repair with activated nucleus pulposus cell transplantation: A three-year, prospective clinical study of its safety	European Cells and Materials, Vol. 29, 202-212, 2014
106	中島 功	医学部外科学系救命救急医学	Fundamental Research on Electromagnetic Induction-based Power-generating Coil for Subcutaneous Implantation	The 11th International Conference on Multimedia Information Technology and Applications (MITA 2015), 2014. ISSN 1975-4736, 163-165, 2014
107	中島 功	医学部外科学系救命救急医学	Development of subcutaneous implantation coil for birds	e-Health Networking, Applications and Services (Healthcom), 2014 IEEE 16th International Conference on, 2014, 248-251, 2014
108	中島 功	医学部外科学系救命救急医学	Mathematical Study on Possibility of Pandemics - Avian Influenza in the Jomon Period based on the SIR Model -	Indian Journal of Medical Informatics, 8, 103-104, 2014
109	伊東 英輔	医学部外科学系消化器外科学	Clinicopathological significance of laminin-5 $\gamma$ 2 chain expression in superficial esophageal cancer	Disease of the Esophagus, Vol. 27, Issue 5, 463-469, 2014
110	千野 修	医学部外科学系消化器外科学	Esophageal intramural pseudodiverticulosis treated by endoscopic balloon dilatation	The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine, Vol. 39, No. 3, 137-140, 2014
111	倉繁 祐太	医学部専門診療学系皮膚科学	Primary breast carcinoma en cuirasse derived from invasive lobular carcinoma: the first case report	Journal of Dermatology, 41(12), 1122-1123, 2014
112	倉繁 祐太	医学部専門診療学系皮膚科学	Hidradenoma papilliferum of the vulva in association with an anogenital mammary-like gland	Journal of Dermatology, 41(5), 411-413, 2014
113	野村 栄治	医学部外科学系消化器外科学	Comparison between the early enteral feeding with transnasal tube and parenteral transfusional care after total gastrectomy for gastric cancer	Hepato-Gastroenterology, Volume 62, 536-539, 2014
114	白石 光一	医学部内科学系消化器内科学	Effects of Ethanol and Acetaldehyde Load on Erythrocyte Deformability in Healthy Subjects and Patients with Liver Cirrhosis	Jpn. J. Alcohol & Drug Dependence, Vol. 50, 13-18, 2014
115	酒井 大輔	医学部外科学系整形外科	Percutaneous release of the A1 pulley using a modified Kirschner wire: a cadaveric study	Journal of Orthopaedic Surgery (Hong Kong), 22, 141, 2014
116	酒井 大輔	医学部外科学系整形外科	Cell therapy for intervertebral disc repair: advancing cell therapy from bench to clinics	European Cells and Materials, 27, 5-11, 2014
117	浅井 哲	医学部専門診療学系産婦人科学	Rectal injury associated with insertion of a vaginal delineator tube during total laparoscopic hysterectomy: A case report and review of the literature.	Gynecology and Minimally Invasive Therapy, 3(2), 54-56, 2014
118	深川 雅史	医学部内科学系腎・代謝内科学	Efficacy and safety of SBR759, a novel calcium free, iron (III)-based phosphate binder, versus placebo in chronic kidney disease stage V Japanese patients on maintenance renal replacement therapy.	Clin Exp Nephrol, 18, 135-143, 2014

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
119	青山 謙一	医学部外科学系口腔外科学	Frequent mutations in NOTCH1 ligand-binding regions in Japanese oral squamous cell carcinoma.	Biochemical and Biophysical Research Communications,,,2014
120	高橋 美穂	医学部外科学系口腔外科学	Clinicopathological analysis of 502 patients with oral squamous cell carcinoma with special interest to distant metastasis.	THE TOKAI JOURNAL of EXPERIMENTAL and CLINICAL MEDICINE,,,2014
121	藤井 敏晴	医学部内科学系循環器内科学	Visualization of microvessels by angiography using inverse-Compton scattering X-rays in animal models.	J Synchrotron Radiat,21(6),1327-32,2014
122	藤井 敏晴	医学部内科学系循環器内科学	Development of Fingertip Synchrotron Radiation Microangiography toward Clinical Prediction of Diabetic Microangiopathy.	Tokai J Exp Clin Med,40(1),1-7,2014
123	斉藤 剛	医学部外科学系救命救急医学	Experimental study on external contamination of hair by synthetic cannabinoids and effect of hair treatment	Forensic Toxicology,33,155-158,2014
124	永田栄一郎	医学部内科学系神経内科学	Possible association between dysfunction of vitamin D binding protein (GC Globulin) and migraine attacks.	PLOS ONE,9,e105319,2014
125	川口 義明	医学部内科学系消化器内科学	Accessory Pancreatic Duct-Portal Vein Fistula: A Rare Complication of Chronic Pancreatitis during Endoscopic Retrograde Cholangiopancreatography	Case Reports in Gastroenterology,8,291-296,2014
126	三上 克央	医学部専門診療学系精神科学	Prevention of Post-Stroke Generalized Anxiety Disorder, Using Escitalopram or Problem-Solving Therapy	The Journal of Neuropsychiatry & Clinical Neurosciences,26(4),323-328,2014
127	三上 克央	医学部専門診療学系精神科学	Attempted suicide of an adolescent with autism spectrum disorder	Int J Psychiatry Med,47(3),263-71,2014
128	守田 誠司	医学部外科学系救命救急医学	Chest compressions in patients who have undergone cardiac surgery.	Internal medicine.,53巻6号,635-636,2014
129	松本 知博	医学部専門診療学系画像診断学	Transnodal lymphangiography and post-CT for protein-losing enteropathy in Noonan syndrome.	Minim Invasive Ther Allied Technol.,30,1-4,2014
130	高橋 浩雄	医学部内科学系腎・代謝内科学	Impact of parathyroidectomy on serum FGF23 and soluble Klotho in hemodialysis patients with severe secondary hyperparathyroidism	The Journal of Clinical Endocrinology & Metabolism,99巻4号,652-8,2014
131	大野 洋平	医学部内科学系循環器内科学	Optical Coherence Tomography Assessment of Late Intra-Scaffold Dissection: A New Challenge of Bioresorbable Scaffolds	JACC-Cardiovascular Interventions,8(1),e11-2,2014
132	大野 洋平	医学部内科学系循環器内科学	Longitudinal Elongation, Axial Compression, and Effects on Strut Geometry of Bioresorbable Vascular Scaffolds: Insights From Two- and Three Dimensional Optical Coherence Tomography Imaging.	JACC-Cardiovascular Interventions,8(3),e35-7,2014

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
133	大野 洋平	医学部内科学系循環器内科学	Extended use of percutaneous edge-to-edge mitral valve repair beyond EVEREST criteria: 30-day and 12-month clinical and echocardiographic outcomes from the GRASP registry.	JACC-Cardiovascular Interventions,8(1),74-82,2014
134	大野 洋平	医学部内科学系循環器内科学	New-Onset Coronary Aneurism and Late-Acquired Incomplete Scaffold Apposition After Full Polymer Jacket of a Chronic Total Occlusion With Bioresorbable Scaffolds.	JACC-Cardiovascular Interventions,8(3),e41-3,2014
135	大野 洋平	医学部内科学系循環器内科学	Acute Left Atrial Spontaneous Echocardiographic Contrast and Suspicious Thrombus Formation Following Mitral Regurgitation Reduction With The MitraClip System.	JACC-Cardiovascular Interventions,7(11),1322-3,2014
136	大野 洋平	医学部内科学系循環器内科学	Impact of Balloon Post-dilation on Clinical Outcomes after Transcatheter Aortic Valve Replacement with the Self-expanding CoreValve Prosthesis.	JACC-Cardiovascular Interventions,7(9),1014-21,2014
137	大野 洋平	医学部内科学系循環器内科学	New insights on acute expansion and longitudinal elongation of bioresorbable vascular scaffolds in vivo and at bench test: A note of caution on reliance to compliance charts and nominal length.	CATHETERIZATION AND CARDIOVASCULAR INTERVENTIONS,85(4),E99-107,2014
138	大野 洋平	医学部内科学系循環器内科学	Catheter-Based Edge-to-Edge Mitral Valve Repair After Percutaneous Mitral Valve Annuloplasty Failure.	JACC-Cardiovascular Interventions,7(7),e85-6,2014
139	大野 洋平	医学部内科学系循環器内科学	Association of tricuspid regurgitation with clinical and echocardiographic outcomes after percutaneous mitral valve repair with the MitraClip System: 30-day and 12-month follow-up from the GRASP Registry.	European Heart Journal-Cardiovascular Imaging,15(11),1246-55,2014
140	大野 洋平	医学部内科学系循環器内科学	Treatment of coronary bifurcation lesions with bioresorbable vascular scaffolds	MINERVA CARDIOANGIOLOGICA,62(3),229-34,2014
141	大野 洋平	医学部内科学系循環器内科学	Mechanisms, Pathophysiology, and Clinical Aspects of Incomplete Stent Apposition	JOURNAL OF THE AMERICAN COLLEGE OF CARDIOLOGY,63(14),1355-67,2014
142	水間 敦士	医学部内科学系神経内科学	Dynamic cross-sectional changes of the middle cerebral artery in atherosclerotic stenosis detected by 3.0-Tesla MRI	Neurol Res,36(9),795-799,2014
143	水間 敦士	医学部内科学系神経内科学	Relationship between Atherosclerotic Risk Factors and Aortic Plaques in Patients with First-ever Ischaemic Stroke	Heart Lung Circ,23,930-935,2014
144	今関 良子	医学部内科学系神経内科学	Rapidly progressive dementia caused by a superior sagittal sinus dural arteriovenous fistula: a case report	Tokai J Exp Clin Med,40(1),22-26,2014
145	西島 義博	医学部専門診療学系産婦人科学	Uterine Rupture at 26 Weeks of Pregnancy Following Laparoscopic Salpingectomy with Resection of the Interstitial Portion: A Case Report	The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine,Vol.39 No.4,pp.169-171,2014
146	渡邊 創	医学部外科学系呼吸器外科学	Relation Between Thin-Section Computed Tomography and Clinical Findings of Mucinous Adenocarcinoma	The Annals of Thoracic Surgery,Volume 99, Issue 3,975-982,2014

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
147	新倉 直樹	医学部外科学系乳腺・内分泌外科学	Prognostic significance of the Ki67 scoring categories in breast cancer subgroups.	Clinical Breast Cancer,14(5),323-329,2014
148	後藤 信哉	医学部内科学系循環器内科学	Acquired von Willebrand Syndrome (AVWS) as an Important Diagnostic Category of Disease	Journal of Atherosclerosis and Thrombosis,22(3),231-232,2014
149	佐藤 亜依	医学部内科学系血液・腫瘍内科学	Clinical outcome of Epstein-Barr virus-positive diffuse large B-cell lymphoma of the elderly in the rituximab era.	Cancer Sci.,105(9),1170-1175,2014
150	小島 稔	医学部内科学系血液・腫瘍内科学	Two Cases of Successful Autologous Hematopoietic Stem Cell Harvest after Treatment with Brentuximab Vedotin.	Acta Haematol.,134(3),181-182,2014
151	矢作榮一郎	医学部専門診療学系皮膚科学	Exogenous Insulin-derived Acanthosis Nigricans Caused by Insulin Injections	The Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine,39巻1号,5-9,2014
152	津田 万里	医学部外科学系乳腺・内分泌外科学	The Effect of Peptide Treatment on the HLA-Binding and Antibody Production in Peripheral Blood Mononuclear Cells Obtained from Japanese Breast Cancer Patients	Journal of Vaccine and Vaccination,6,270,2014

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

5 平成二十六年中の業務報告において当該実績が七十件未満の場合には、平成二十六年の改正前の基準による実績についても報告すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1				
2				
3				
4				
5				
~				

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

3 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	有 無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	有 無
・ 手順書の主な内容 事務局の設置、責務・業務、委員の構成と指名、開催と採決、運営、審査委員会情報の公表、審査資料、臨床研究等の審査、審査結果の判定区分、迅速審査、委員長・副委員長及び委員の業務、審査委員会事務局の業務、審査結果の通知	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 1 2 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有 無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	有 無
・ 規定の主な内容 学校法人東海大学利益相反に関する規程 学校法人東海大学利益相反ポリシー	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 6 回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 1 回
・ 研修の主な内容 新規採用職員の入職時研修の一環として全員に臨床研究と倫理について講義形式の研修を義務付けている。	

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各研修領域の研修プログラムに沿い、到達目標の達成を目指し、専門医取得に向けた臨床研修を実施。

2 研修の実績

研修医の人数	123.2人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
伊莉 裕二	循環器内科	教授	29年	
浅野 浩一郎	呼吸器内科	教授	30年	
端山 直樹	呼吸器内科	講師	22年	
峯 徹哉	消化器内科	教授	37年	
小川吉明	血液腫瘍内科	准教授	26年	
安藤 潔	血液腫瘍内科	教授	28年	
瀧澤 俊也	神経内科	教授	34年	
鈴木 康夫	リウマチ内科	教授	39年	
豊田 雅夫	腎内分泌代謝内科	准教授	19年	
深川 雅史	腎内分泌代謝内科	教授	31年	
關 敏郎	腎内分泌代謝内科	准教授	23年	
高木 敦司	総合内科	教授	38年	
上田 敏彦	心臓血管外科	教授	38年	
岩崎 正之	呼吸器外科	教授	30年	
安田 聖栄	消化器外科	教授	38年	
小澤 壮治	消化器外科	教授	33年	
貞廣 莊太郎	消化器外科	教授	37年	
上野 滋	小児外科	教授	37年	
徳田 裕	乳腺内分泌外科	教授	32年	
宮坂 宗男	形成外科	教授	35年	
山本 賢司	精神科	教授	25年	
松本英夫	精神科	教授	32年	
森本 克	小児科	講師	27年	
望月 博之	小児科	教授	34年	
鈴木 啓二	小児科	教授	33年	
持田 譲治	整形外科	教授	41年	
松前 光紀	脳神経外科	教授	33年	
馬淵 智生	皮膚科	准教授	16年	
寺地 敏郎	泌尿器科	教授	37年	

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
和泉 俊一郎	産婦人科	教授	37年	
三上 幹男	産婦人科	教授	31年	
河合 憲司	眼科	教授	35年	
大上 研二	耳鼻咽喉科	教授	28年	
国枝 悦夫	放射線治療科	教授	34年	
鈴木 利保	麻酔科	教授	33年	
山崎 一	麻酔科	講師	22年	
橋本 順	画像診断科	教授	27年	
正門 由久	リハビリテーション科	教授	33年	
宮地 勇人	臨床検査科	教授	28年	
中村 直哉	病理診断科	教授	30年	
猪口 貞樹	救命救急科	教授	37年	
金子 明寛	口腔外科	教授	31年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

【認定静脈注射看護師講習会】

- ・研修の主な内容  
静脈注射を単独で施行できる看護師の育成
- ・研修の期間・実施回数・参加人数  
1回目：2014年 5月17日（38人）  
2回目：2014年 7月19日（39人）  
3回目：2014年 9月20日（39人）  
4回目：2014年11月15日（40人）  
5回目：2015年 1月17日（37人）  
6回目：2015年 2月21日（33人）

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

【看護単位責任者研修（リフレッシュ研修）】

- ・研修の主な内容  
マネジメントに活かす情報管理
- ・研修の期間・実施回数・参加人数  
2014年11月27日（38人）

【看護単位責任者研修（院内教育研修）】

- ・研修の主な内容  
面接技法～人材育成に活用できる面接技法を学ぶ～
- ・研修の期間・実施回数・参加人数  
2014年12月13日（38人）

【主任研修（リフレッシュ研修）】

- ・研修の主な内容  
次世代の看護単位責任者として今準備すべきこと
- ・研修の期間・実施回数・参加人数  
2015年3月11日（41人）

【副主任研修】

- ・研修の主な内容  
貴院における感染管理
- ・研修の期間・実施回数・参加人数  
2014年11月26日（75人）

【シフトリーダーナース研修】

- ・研修の主な内容  
シフトリーダーナースの役割や位置づけ、リーダーシップについて学ぶ
- ・研修の期間・実施回数・参加人数  
2014年11月13日、27日（80人）

【トップリーダーナース研修】

- ・研修の主な内容  
トップリーダーの役割や業務、リーダーに必要なスキルについて学ぶ
- ・研修の期間・実施回数・参加人数  
2015年1月16日（52人）

【モジュラーグループリーダー研修】

- ・研修の主な内容  
モジュラーグループの目指すもの、モジュラーグループリーダーの位置づけ、役割について学ぶ
- ・研修の期間・実施回数・参加人数  
2015年3月12日（43人）

【主任就任時研修】

- ・研修の主な内容  
主任の役割と責任（看護単位責任者の補佐・代行業務）について学ぶ
- ・研修の期間・実施回数・参加人数  
2014年5月14日（4人）

【副主任就任時研修】

- ・研修の主な内容  
副主任の役割と責任、副主任活動について学ぶ
- ・研修の期間・実施回数・参加人数  
2014年5月28日（14人）

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容
- ・研修の期間・実施回数
- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2) 現状
管理責任者氏名	猪口 貞樹
管理担当者氏名	廣瀬利美雄

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 ①病院日誌、②各科診療日誌、 ③処方せん、④手術記録、⑤看護記録、 ⑥検査所見記録、⑦エックス線写真、 ⑧紹介状、⑨退院した患者に係る入院 期間中の診療経過の要約及び入院診療 計画書		伊勢原総務課①、② 薬剤部③ 診療情報管理課/ 情報システム課④、 ⑤、⑥、⑦、⑧、⑨	年度別①、②、③ 別紙詳細④、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨	
病院の 管理 及び 運営 に 関 す る 諸 記 録	従業者数を明らかにする帳簿	伊勢原人事課 臨床研修部	DB管理と月初に人数表を出力	
	高度の医療の提供の実績	医事課		
	高度の医療技術の開発及び 評価の実績	伊勢原研究支援課		
	高度の医療の研修の実績	医療安全対策課 看護部		
	閲覧実績	伊勢原総務課		
	紹介患者に対する医療提供 の実績	医事課		
	入院患者数、外来患者及び 調剤の数を明らかにする帳簿	伊勢原総務課 薬剤科	年度別 処方箋の種類及び月別	
	第規 一則 号第 一掲 条の る十 体一 制第 一確 項保 各の 号状 及び 第九 条の 二十 第一 項	医療に係る安全管理の ための指針の整備状況	医療安全対策課	
		医療に係る安全管理の ための委員会の開催状況	医療安全対策課	
		医療に係る安全管理の ための職員研修の実施状 況	医療安全対策課	
		医療機関内における事 故報告等の医療に係る安 全の確保を目的とした改 善のための方策の状況	医療安全対策課	
		専任の医療に係る安全 管理を行う者の配置状況	医療安全対策課	
		専任の院内感染対策を 行う者の配置状況	院内感染対策室	
		医療に係る安全管理を行 う部門の設置状況	医療安全対策課	
	当該病院内に患者から の安全管理に係る相談に 適切に応じる体制の確保 状況	医療安全調査課		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	院内感染対策室
		院内感染対策のための委員会の開催状況	院内感染対策室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	院内感染対策室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	院内感染対策室
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療機器安全管理責任者(診療技術部長)
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器安全管理責任者または当該部署
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器安全管理責任者または当該部署
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器安全管理責任者または当該部署		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	廣瀬利美雄（病院事務部長）	
閲覧担当者氏名	岡名 秀夫（診療情報管理課長）、石橋 利昭（伊勢原総務課長）	
閲覧の求めに応じる場所	診療録閲覧室等	
閲覧の手続の概要		
診療記録の開示及び閲覧は、「個人情報開示請求書」の提出に基づき、情報漏えい防止の観点より安全を配慮し、請求者の十分な確認後、主治医、委員会、病院長等に許可申請を行い、決裁後、閲覧あるいは写しの提供を行っている。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件	
閲覧者別	医師	延	0	件
	歯科医師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

## 診療録等の管理方法

### 1. 診療記録（含むエックス線写真）の保管基準期間（電子媒体保管以前分）

- ① 外来カルテ：最終受診日から10年間とし、死亡患者の場合は14年間とする。
- ② 入院カルテ：最終受診日から14年間とする。

※ 上記保管期間を過ぎたもので、教育・研究等で必要とする場合は、別に保管する。

### 2. 紙カルテ（電子媒体保管以前分）の保管方法

- ① 外来カルテ：2005年10月以前分は、全科1フォルダーの患者ID番号ターミナルデジタル分類保管とする。
- ② 入院カルテ：1入退院毎製本し患者IDターミナルデジタル分類による分類保管とする。

### 3. エックス線写真類（電子媒体保管以前分）の保管分類方法

- ① 2006年1月以前分は、患者ID番号ターミナルデジタル分類による分類保管とする。

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 当院における安全管理に関する基本的考え方 私たち教職員は、全ての行為に対して常に適度な緊張感を持ち、危機管理意識を維持し、安全な医療サービスを提供できるよう努める。</li><li>2. 医療のための委員会およびその他医療機関内の組織に関する基本的事項に係る安全管理<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 医療に係る医療安全管理体制の確保及び推進を図るため、医療安全管理委員会を設置し、医療安全管理委員会の総括の下に、特定の事項を検討するため、各種の委員会並びに分科会を置く。</li><li>(2) 医療に係る安全管理を行う部門として、医療監査部（医療安全対策課・医療安全調査課・院内感染対策室・放射線治療品質管理室）を置き、医療安全に係る企画立案・評価・職員の安全管理に関する意識の向上等組織横断的に指導するため専任医療安全管理者を医療安全対策課に配置する。</li></ol></li><li>3. 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針 医療安全に係る研修を「医療安全・感染防止セミナー」と位置づけ全教職員に対して、以下の研修を実施する。 なお、新規採用、異動者、出向終了者、育児休業・産休から復帰した者及び臨床研修医に対する研修は別途実施する。<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 医療安全に関する事項</li><li>(2) 感染防止対策に関する事項</li><li>(3) 医薬品関連に関する事項</li><li>(4) 医療機器関連に関する事項</li><li>(5) その他重大な事象が発生した事項</li></ol></li><li>4. 当院における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 インシデントやアクシデントが発生した場合は、速やかにインシデント情報登録システム（EMI）に必要な事項を入力し、医療監査部へレポートを提出する。提出されたレポートが診療録及び看護記録に基づき記載されているかを専任医療安全管理者が検証する。 重要と思われるレポートについては、レポート検討会で検証し、医療安全管理委員会に諮る。さらに、対策が必要な事象については、RCA（根本原因分析）或いは事故調査委員会にて検証する。</li><li>5. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 当該者の健康回復に全力を尽くすことを優先し、可及的速やかに上司に連絡し判断を仰ぎ、必要に応じて院内に緊急情報を発信し処置を行なう十分な人員を確保する。</li><li>6. 医療従事者と患者との間の情報共有に関する基本方針 （患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針を含む）医療安全対策マニュアルは、当院のホームページ及び病院情報システム端末に掲載し、いつでも情報が取得できる環境を構築し公開する。 また、患者からの医療の安全管理及び安全対策等についての質問等があれば積極的に情報を開示する。</li><li>7. 患者からの相談への対応に関する基本方針 患者・家族からの相談に適切に応じる体制を確保するために、総合相談室に相談窓口を設置し、安全管理体制の確保について、関係部署に改善等の指導をする。</li><li>8. その他医療安全の推進のために必要な基本方針 各部署にリスクマネージャーを配置し、医療安全管理委員会で決定した医療安全に係る事項を所属員へ周知させる。また、安全情報としてセイフティ・トピックスの発行並びに各種ガイドラインの策定を行い教職員に周知する。</li></ol>	

② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 委員構成（委員：27名、オブザーバー：1名、事務局：3名） 医療監査部長（委員長）、専任医療安全管理者、医師（内科学系・外科学系・専門診療学系）、臨床研修部、看護部（部長、次長、医療安全対策委員）、薬剤部、医薬品安全管理責任者、診療技術部、医療機器安全管理責任者、院内感染対策室、専任院内感染対策責任者、医療機器管理・呼吸ケア支援センター、事務（医療監査部、総務課、用度管理課、医事課、診療情報管理課、）</li> <li>2. 医療安全管理委員会の開催状況 実施：平成26年4月14日、平成26年5月12日、平成26年6月9日、平成26年7月14日、平成26年8月11日、平成26年9月8日、平成26年10月14日、平成26年11月10日、平成26年12月8日、平成27年1月13日、平成27年2月9日、平成27年3月9日</li> <li>3. 主な内容 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 提出されたインシデント／アクシデントレポートの検討</li> <li>(2) 医療に係る医療安全の諸規程の整備</li> <li>(3) 重大な問題が発生した事象に対する事故調査委員会の設置</li> <li>(4) 重要な対策が必要な事象に対する「RCA（根本原因分析）検討会」の実施</li> <li>(5) 医療安全・感染防止セミナーの企画、実施及びセイフティ・トピックスの発行</li> <li>(6) 医療安全対策チーム設置の検討</li> <li>(7) 東海大学医学部付属病院群への医療安全に関する周知事項の審議</li> <li>(8) リスクマネージャー会で検討する事項の審議及びリスクマネージャー会の実施</li> <li>(9) 医療安全対策マニュアル及び医療安全基本マニュアル（携帯版）の策定</li> <li>(10) 医療安全月間の企画</li> <li>(11) 医薬品の安全管理体制及び医療機器の保守点検・安全使用に関する体制の確保について医薬品関連分科会並びに医療機器関連分科会で策定した事項を協議する</li> <li>(12) 院内感染防止対策委員会で策定される院内感染対策の体制の確保について連携する</li> <li>(13) 厚生労働省への提出事象の分類</li> <li>(14) 厚生労働省への医療機器に関する提言事象の抽出</li> <li>(15) 前各号に掲げたもののほか委員長が必要と認めた事項</li> </ol> </li> </ol>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年10回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第1回医療安全・感染防止セミナー（医療安全の日セミナー）：平成26年4月9日 「医療事故被害者の望み」「感染対策チーム活動の現状：ICTラウンドを中心に」</li> <li>2. 第2回医療安全・感染防止セミナー：平成26年5月13日 「院内におけるインスリンの適正使用について」「手指衛生5つのタイミング-手指消毒回数の上をめざして-」</li> <li>3. 第3回医療安全・感染防止セミナー：平成26年6月5日 「食中毒から身を守ろう！」「静脈注射の実際と合併症としての神経損傷」</li> <li>4. 第4回医療安全・感染防止セミナー：平成26年7月9日 「褥瘡予防・管理ガイドライン活用法」「褥瘡リスクアセスメント・褥瘡予防治療計画書の重要性」「小児病棟における感染防止対策の取り組み」「規制医薬品の安全管理」</li> <li>5. 第5回医療安全・感染防止セミナー：平成26年9月5日 「抗菌薬適正使用に向けて～標準化用量指標を用いたモニタリング～」 「診療記録からみた医療安全」 「医療従事者にとって禁煙とは？」</li> <li>6. 第6回医療安全・感染防止セミナー：平成26年10月7日 「入院中のインスリン療法を用いた血糖管理～意識障害・嘔吐等の対応～」 「医療機器の安全使用」 「流</li> </ol>	

行性ウイルス感染症の動向と対策」

7. 第7回医療安全・感染防止セミナー：平成26年11月7日  
「ESBL発生動向と対策」「医療機器関連圧迫創傷について知ろう」「救急カートの運用基準、搭載医薬品・物品の変更について」「内服薬の使用上の注意について（自動車運転禁止薬）」
8. 第8回医療安全・感染防止セミナー：平成27年1月8日  
「褥瘡予防のためのポジショニング」「今冬のインフルエンザの傾向と対策」「個人情報保護に関する注意点—最近の事例から—」
9. 第9回医療安全・感染防止セミナー：平成27年2月16日  
「結核接触者健診と次年度からの変更点について」「暴言・暴力への対応」「2014年度医療安全対策のまとめ」
10. 第10回医療安全・感染防止セミナー：平成27年3月5日  
「予期せぬ急変を防ぐために～RRS(急変対策チーム)発足へ向けて～」「看護部主任会(患者誤認防止に関する取り組み・安全な内服管理を目指して)」「看護部副主任会(手指衛生・環境整備・標準予防策/感染経路別予防策定着推進・針刺し切創予防)」

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (  有 ) ・ 無 )
- ・ その他の改善のための方策の主な内容：
  1. 各年度のレポート報告提出枚数
    - 1)平成11年度：2,892枚 2)平成12年度：5,534枚 3)平成13年度：5,132枚
    - 4)平成14年度：5,179枚 5)平成15年度：5,634枚 6)平成16年度：5,517枚
    - 7)平成17年度：5,398枚 8)平成18年度：5,416枚 9)平成19年度：5,685枚
    - 10)平成20年度：6,064枚 11)平成21年度：6,173枚 12)平成22年度：6,060枚
    - 13)平成23年度：5,263枚 14)平成24年度：4,845枚 15)平成25年度：5,277枚
    - 16)平成26年度：4,995枚
  2. 発生した事故等の医療安全管理委員会への報告  
レポート取扱い基準に則り、月別一覧表を作成し、医療監査部で一覧表事例の分析及び検証を行い、特に検討等が必要な事象をレポート検討会に諮る。  
レポート検討会で検討された対策案等を医療安全管理委員会へ具申している。
  3. 事故等の収集・分析による組織としての改善策の企画立案及びその実施状況の評価と情報の共有
    - (1) 月別にインシデント/アクシデントレポートを各事象(CV関連・気道関連・ドレーン関連・化学療法関連・医療機器関連・転倒転落関連・医薬品関連)ごとに統計・解析し、各種委員会(病院運営会議・診療科長会・診療協議会)、RM会、セミナー等で注意を喚起している。
    - (2) レポート検討会で提案された対策案等を医療安全管理委員会で審議し、さらに検討・対策が必要な事象は、根本原因分析(RCA)・各分野の医療安全対策チーム(CV関連・気道関連・ドレーン関連・医薬品関連・医療機器関連・転倒転落関連・肺血栓塞栓症関連・抗凝固薬服用中止関連・予期せぬ急変・救急カート)で対策案等を検討している。
    - (3) 上記で検討された対策案等は、各種委員会(病院運営会議・診療科長会・診療協議会)・RM会・セミナー・セイフティ・トピックス等で周知している。
  4. 重大事故発生時の病院管理者への報告及び再発防止策(背景要因・根本原因分析)
    - (1) 重大な事故が発生した場合は、手順に従い、速やかに病院長に報告する。また、インシデント/アクシデントレポートとは別に、時系列の報告書(事例報告書)を24時間以内に提出させ、病院長へ報告している。
    - (2) 事象に応じて、根本原因分析(RCA)・事故調査委員会・事故検証委員会・外部評価委員会を立ちあげ再発防止策を講ずる。
  5. 診療記録等監査  
診療録等の記載から医療過程においてどのような影響があったか。また、診療録記載以外にも、医療の安全や患者満足度、適正な医療の実施などの評価を隔月で6回/年、診療記録等監査として定期開催している。

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 ( 2名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 ( 1名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員：専任（6名）兼任（4名）</li> <li>・ 活動の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療監査部の事務に関する事。</li> <li>2. 医療安全教育の事務に関する事。</li> <li>3. 医療安全セミナーの実施運営に関する事。</li> <li>4. 医療安全の各種委員会の事務に関する事。</li> <li>5. 医療の安全と質の確保に関する事。</li> <li>6. 医療安全レポートに関する事。</li> <li>7. 医療安全に関する官公庁への届出及び報告に関する事。</li> <li>8. 診療記録等監査の事務に関する事。</li> <li>9. その他医療安全の事務に関する事。</li> </ol> </li> </ul>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無

### 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>院内感染対策のための指針</p> <p>以下の 7 項目は、平成 19 年 4 月 1 日付で公布された医療法施行規則改正と感染症の予防及び感染症患者に関する法律（感染症）に基づいている。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 院内感染対策に関する基本的考え方 私たち東海大学医学部附属病院において医療に従事する者は、全ての行為に対して常に適度な緊張感を持ち、危機管理意識を維持し、患者診療における院内感染防止対策のため努力する。</li><li>2. 院内感染対策のための委員会その他の組織に関する基本事項 院内感染防止対策委員会は、「医療法施行規則：平成19年4月1日付け改正公布」「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律：いわゆる感染症法」と「医療法」および院内感染対策管理のための施設基準に基づき、東海大学医学部附属病院（以下「病院」という）における病院内感染者の取り扱いおよび管理に関する事項を定め、病院感染による事故の発生を防止し、併せて病院内環境の保全を図ることを目的として設置する。すなわち、本委員会の目的は、病院における院内感染の実情を把握し、その発生・蔓延を防止する対策を立案して、医学部長および病院長にその実施を提言することにある。</li><li>3. 院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 感染対策担当者および感染対策チームは、施設全体の職員（委託業者を含む）を対象として、定期的に院内感染防止対策に関する教育、研修を行う。新採用職員（途中採用者を含む）において、採用時に随時、院内感染防止対策に関する教育、研修を行う。</li><li>(2) 感染対策担当者は、院内感染の増加が疑われる、あるいは確定した場合、介入の手段として、部署（診療単位）や職種を限定して、院内感染防止対策に関する教育、研修を行う。</li><li>(3) リンクドクターとリンクナースは連携して、各診療領域における一般医療スタッフに対して感染防止対策上の問題認識向上と啓発指導を図る。</li></ol></li><li>4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 感染症の院内における発生を迅速に把握できる方法を確立し、院内感染を未然に防ぎ、または蔓延を防止するために、リアルタイムに対策を立てられるようにする。</li><li>(2) 感染症の発生の報告は、主治医および病棟医長・病棟看護責任者から感染症患者発生報告書にて、院内感染対策室を経由して、病院長に提出される。</li><li>(3) 「感染症法」に規定される届出は、最寄りの保健所長を経由して都道府県知事に届け出る。</li></ol></li><li>5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 院内感染の発生動向の監視（サーベイランス）を実施し、動向の分析に基づき、対策を立案し、改善のための方策を実施する（コンサルテーション）。</li><li>(2) 院内感染発生時の対応手順を明確化し、文書として「院内感染防止対策マニュアル」に記述し、院内感染発生時には迅速に対応できるようにする。</li></ol></li><li>6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 院内感染対策のための指針（マニュアル）は、全職員が随時参照できるように、病院情報システム用端末の「掲示板」に掲載してある。また、指針（マニュアル）は、患者が閲覧できるように、病院のホームページにも掲載してある。指針の詳細についての質問があれば、積極的に開示する旨、マニュアルの「序論」に掲載してある。</li><li>7. その他の医療機関内における院内感染対策の推進のための必要な基本方針<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 院内感染対策の推進のために必要な方策を明確化し、文書として「院内感染防止対策マニュアル」に記述し、院内感染発生を未然に防ぎ、また発生時に蔓延を防ぐようにする。</li><li>(2) 院内感染対策室（院内感染担当者）では、感染症の発生状況を把握し、発生状況で重要な動向や患者発生については、病院全体で情報を共有化するよう情報提供する</li></ol></li></ol>	

② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 委員の構成（委員：18名、事務局：2名） 院内感染防止対策委員長、委員医師14名（内科学系、外科学系、専門診療学系）、事務部1名、看護部1名、診療技術部1名、事務局2名（院内感染対策室専従臨床検査技師）</li> <li>2. 主な内容 <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）感染症の地域流行などの感染症情報の把握と提供に関すること。</li> <li>（2）院内感染発生の監視・疫学調査および情報の提供に関すること。（細菌培養・薬剤感受性などの情報）</li> <li>（3）感染症発生の届出に関する業務およびその情報の保管に関すること。</li> <li>（4）病院環境汚染の把握、医薬品や医療機器汚染の監視・指導に関すること。</li> <li>（5）抗菌薬・消毒剤の使用状況の把握・適正使用の指導に関すること。</li> <li>（6）院内の感染対策や感染制御の立案・実行・評価に関すること。（院内感染防止対策マニュアル）</li> <li>（7）感染対策全般に関するコンサルテーションや指導・教育に関すること。</li> <li>（8）院内感染防止対策に係わる経費算定・管理に関すること。</li> <li>（9）その他、病院長の指示する業務、あるいは委員会決定事項の遂行に関すること。</li> </ol> </li> <li>3. 院内感染防止対策委員会の開催状況 実施：平成26年4月15日、平成26年5月20日、平成26年6月17日、平成26年7月15日、平成26年8月19日、平成26年9月16日、平成26年10月21日、平成26年11月18日、平成26年12月16日、平成27年1月16日、平成27年2月17日、平成27年3月17日</li> </ol>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年10回
<p>・ 研修の主な内容：実施した研修会</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第1回医療安全・感染防止セミナー（医療安全の日セミナー）：平成26年4月9日 「感染管理加算におけるICT活動」</li> <li>2. 第2回医療安全・感染防止セミナー：平成26年5月13日 「手指衛生5つのタイミングー手指消毒回数の上をめざしてー」</li> <li>3. 第3回医療安全・感染防止セミナー：平成26年6月5日 「食中毒から身を守ろう！ー食中毒の原因と予防について」</li> <li>4. 第4回医療安全・感染防止セミナー：平成26年7月9日 「小児病棟における感染防止対策の取り組み」</li> <li>5. 第5回医療安全・感染防止セミナー：平成26年9月5日 「抗菌薬適正使用に向けてー標準化使用量指標を用いたモニタリングー」</li> <li>6. 第6回医療安全・感染防止セミナー：平成26年10月7日 「流行性ウイルス感染症の動向と対策」</li> <li>7. 第7回医療安全・感染防止セミナー：平成26年11月7日 「ESBL発生動向と対策」</li> <li>8. 第8回医療安全・感染防止セミナー：平成27年1月8日 「今冬のインフルエンザの傾向と対策」</li> <li>9. 第9回医療安全・感染防止セミナー：平成27年2月16日 「結核接触者健診と次年度からの変更点について」</li> <li>10. 第10回医療安全・感染防止セミナー（看護部合同報告）：平成27年3月5日 「手指衛生、環境整備、標準予防策・経路別予防策、針刺し切創予防」</li> </ol>	

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

・ 病院における発生状況の報告等の整備 (  有  無 )

・ その他の改善のための方策の主な内容：

1. 病院における発生状況の報告等の整備

- (1) 感染症の院内における発生を迅速に把握できる方法を確立し、院内感染を未然に防ぐ、または蔓延を防止するために、リアルタイムに対策を立てられるようにする。
- (2) 感染症の発生の報告は、主治医および病棟医長・病棟看護責任者から感染症患者発生報告書にて、院内感染対策室を経由して、病院長に提出される。
- (3) 「感染症法」に規定される届出は、最寄りの保健所長を経由して都道府県知事に届け出る。

2. その他の改善のための方策の主な内容

耐性菌発生時の病棟別、診療科別動向調査を行い、薬剤使用状況との解析による各部署へのフィードバック、さらに担当医に対するコンサルテーションや病棟ラウンドによる感染防止対策。

(様式第6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	○有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年2回
<p>・研修の主な内容：</p> <p>*全体研修</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・医療安全・感染防止セミナー</li><li>第6回セミナー 医療機器の安全使用 : 平成26年10月7日</li><li>第7回セミナー 医療機器関連圧迫創傷について知ろう : 平成26年11月7日</li></ul> <p>*リスクマネージャ (RM) 会</p> <ul style="list-style-type: none"><li>第2回 医療機器・チューブトラブルWG活動報告 (東京病院) : 平成26年7月24日</li></ul> <p>*臨床研修医セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"><li>第3回セミナー 呼吸器管理について : 平成26年6月18日</li></ul> <p>*その他</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・必要に応じて当該部署にて研修を実施</li></ul> <p>研修の主な内容：①有効性・安全性に関する事項 ②使用方法に関する事項 ③保守点検に関する事項 ④不具合が発生した場合の対応 ⑤法令遵守すべき事項</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・計画の策定 (○有・無)</p> <p>・保守点検の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 人工心肺装置及び補助循環装置：年1回実施</li><li>2) 人工呼吸器：年2回実施</li><li>3) 血液浄化装置：年2回実施</li><li>4) 除細動装置：年1回実施</li><li>5) 閉鎖式保育器：年1回実施</li><li>6) 診療用高エネルギー放射線発生装置：年4回実施</li><li>7) 診療用放射線照射装置：年2回実施</li></ol> <p>①動作確認 ②精度確認 ③磨耗・損耗箇所確認 ④安全機構確認</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・医療機器に係る情報の収集の整備 (○有・無)</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <ol style="list-style-type: none"><li>①医療機器使用時における禁忌情報を“医療安全基本マニュアル (携帯版)” に追加掲載</li><li>②医療機器関連分科会の指示のもと医療機器全般の不具合、使用、管理方法等について、医療機器安全対策チームで安全性等について検討している</li><li>③医療機器関連分科会の下部組織として小委員会を立ち上げ、医療機器の管理状況、研修の進捗状況を把握するための体制を維持</li></ol>	

(様式第6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	○・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年40回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>(1) 研修医に対する医薬品関連の講話 (1回)</li><li>(2) 新人看護師に対する講義(2回)</li><li>(3) 救命救急センターにおける麻薬・筋弛緩薬・向精神薬の管理について (12回)</li><li>(4) 中央手術室における重点管理薬品の管理について(7回)</li><li>(5) 医療安全・感染防止セミナー<ul style="list-style-type: none"><li>①規制医薬品について(1回)</li><li>②医薬品安全管(1回)</li><li>③抗菌薬適正使用に向けて(1回)</li></ul></li><li>(6) 全職員を対象とした「医薬品知識確認のeラーニング」(1回)</li><li>(7) N-ICU・6B病棟看護師向け知識 (13回)</li><li>(8) 産科研修医向け知識 (5回)</li><li>(9) 7B病棟看護師向け知識 (10回)</li><li>(10) 看護師に対するジェネリック医薬品の導入に関して (3回)</li><li>(11) 看護師に対する麻薬の基本的な使用と当院での使用上の注意 (1回)</li></ul></li></ul>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 手順書の作成 (○・無)</li><li>・ 業務の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>(1) 医薬品の採用審査に伴う薬事委員会への関与 (月1回)</li><li>(2) 採用薬品情報・試用薬品情報の発行 (月1回)</li><li>(3) 採用中止情報の発行 (11回)</li><li>(4) 病棟・外来に定数保管されている医薬品の保管状況および品質管理 (年3回)</li><li>(5) 抗がん剤のレジメン管理および混合調製 (毎日)</li><li>(6) 持参薬チェックおよび再調剤 (毎日)</li><li>(7) 医薬品集および禁忌薬剤集の作成 (年1回)</li></ul></li></ul>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (○・無)</li><li>・ その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>(1) 医薬品・医療機器等安全情報の配信 (12回)</li><li>(2) 「効能効果」「用法用量」の追加、変更、削除に関するインフォメーションの発行 (8回)</li><li>(3) DIニュースの発行 (26回)</li><li>(4) 安全性速報の通知 (3回)</li><li>(5) 医療安全情報の配信 (29回)</li></ul></li></ul>	

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 【病院機能評価】 日本医療機能評価機構 平成26年10月14日、15日 【日本私立医科大学病院感染対策協議会相互ラウンド】 東京医科大学病院 平成27年2月13日 【日本私立医科大学病院医療安全相互ラウンド】 東京医科大学病院 平成27年2月13日	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 病院ホームページ上で、病院の機能・取組み、先進医療、各診療科における医師の専門性、診療内容、診療実績、各種講演会・講座の情報発信を行っている。 また、近隣医療機関向けとして「診療案内」、「のぞみ」等の冊子・チラシ、患者さん向けとして「医療小知識」を配布している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 【チーム医療の体制について】 栄養サポートチーム、呼吸ケアチーム、緩和ケアチーム、褥瘡対策チームなどのチームが定期的に回診を行い、診療科の枠を超え患者のケアに当たっている。	